

高一 七月 ベネッセ・進研模試 対策・予想問題 (配点 二十五点 時間 二十分)

■次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

相模守時頼の母は、松下禅尼とぞ申し(けり)。守かみを入れ申さるることありけるに、すすけたるあかりさうじのやぶればかりを、禅尼手づから、小刀してきりまはしつつ張られければ、兄せうとの城介義景、その日の経営けいぎして候ひけるが、「賜はりて、なにがし男に張らせ候はむ。さやうのことに心得たる者に候」と申されければ、「その男、尼が細工によもまさり侍らじ」とて、なほ一間づつ張られけるを、義景、「皆を張りかへ候はむは、はるかにたやすく候べし。まだらに候も見ぐるしくや」と、かさねて申されければ、「尼も、後はさはさはと張りかへむと思へども、けふばかりは、わざとかくてあるべきなり。物は破れたる所ばかりを修理すりして用ゐることぞと、若き人に見ならはせて、心つけむためなり」と申されける、いとありがたかりけり。

世ををさむる道、(1)を本とす。女性にょしやうなれども聖人の心に(通ふ)り。天下をたもつ程の人を子にて持たれける。誠に、ただ人にはあらざりけるとぞ。

問一 本文中の(けり)(通ふ)を適切な形にせよ。(各一点 計二点)

問二 傍線部①②の語句の、本文中の意味として最も適切なものを次の中から選べ。(各二点 計四点)

- ア経営 一、番人 二、留守番 三、準備 四、清掃 五、見学
イよも 一、まさか 二、もしや 三、全く 四、誰にも 五、いつでも

問三 (1)に入る最も適切な語を次の中から選べ。(四点)

- 一、辛抱 二、清貧 三、清楚 四、儉約 五、勤勉

問四 傍線部①について、「さやう」の内容を明らかにして現代語訳せよ。(六点)

問五 傍線部②について、筆者がそのように述べた理由を、六十字以内で答えよ。(八点)